

FURUTECH

Review

STEREO SOUND

2011 MAY – No.2 - Japan

今より「良い音」を！
Digi Fi 特典
 コスプレ OTOTOY 録音
 ハイレゾ音源
 プリマリアン
 付録

**PCオーディオ&iPodは
 スマート音楽生活を約束する**

Queen / clammbon / 石橋英子 / Dr.K (Hirofumi Tokutake)
 PCオーディオ関連製品全58機種クロスレビュー



リファレンス機材 PC: Apple Mac Book Pro (+Amarrá), プリメインアンプ:アキュフェーズ E-460, スピーカーシステム: KEF Q900

<p>USB DAC 11 機種</p> <p>CROSS REVIEW</p> <p>Digi Fi リファレンスディスク</p> <p>Paul McCartney & Wings 「Band on the Run」から WAV lossless(96kHz/24 ビット)</p>	<p>HRT Music Streamer II</p> <p>●端子: 同軸 ●S/PDIF(24bit) ●USB B</p>  <p>●28,350 ●端子: アナログ音声出力(RCA) ●端子: W129.6×H22.3×D58.5mm/約 170g ●サエクマコース (株) ●03(3588)8481</p> <p>高カリフォルニア、HRT社の96kHz/24ビット対応モデル。音価は安いながらもアシンクロナス・モードを搭載し、ジッターを排除している</p>	<p>ADL GT40 USB DAC</p> <p>●端子: 同軸 ●S/PDIF(24bit) ●USB B</p>  <p>●41,790 ●端子: アナログ音声入力(RCA ※ MC/MM/LINE 切替え可能)、アナログ音声出力(RCA)、ヘッドフォン出力 ●端子: W150×H57×D111mm/約 785g ●フルテック (株) ●03(5437)0261</p> <p>USB DACは96kHz/24ビット対応。さらにヘッドフォンアンプとMM/MC対応のフォノイコライザーアンプ、A/Dコンバーターも搭載</p>
	<p>和音田口</p>  <p>「ステレオサウンド」。「ビートルサウンド」などでも執筆するオーディオ及AV評論家。PCオーディオにはMac Book Proを使い、「Amarrá」で音楽を楽しむ</p> <p>Vinicius Cantuária & Gil Friezel 「Lágrimas Moçicanas」から 「Mi declaración」 AIF(44.1kHz/16ビット)</p> <p>高音質で コストパフォーマンスに優れる</p> <p>サイズはこんなに小さいが予想したより遙かにいい音。「face」は歌声がナチュラルでニュアンスも豊か。バックの弦楽器も熱ややかで柔らかく広がる。「Vinicius～」は特徴的なスルド(大太鼓)が産せた感じにならず豊かで、様々なエフェクトや細やかなノイズもスピーカーの外側まで拡散する。「Band～」はさすがハイレゾ音源で、エネルギー感溢れるリアルな音だ。コストパフォーマンスは、今回聴いた11機種中最高といえる</p>	<p>様々な機能を 活かして使いたい方に</p> <p>USB DACは素直な音で、潤いや滑らかさがもうちょっと感じられれば言うことなし。「face」や「Vinicius～」では歌声にニュアンスをあと少し、弦楽器の音もフワリと艶やかに響いて欲しい。しかし、フォノイコライザーとA/Dコンバーターを内蔵し、アナログレコードのデジタルアーカイブ化が可能というのは、この価格を考えると実にお買い得感が高い。その機能を活かして使おうという読者にお薦めである</p>
<p>石橋英子</p>  <p>大学時代よりドラマーとして活動し、いくつかのバンドを経験。ドラムに限らずピアノやフルートなど、様々な楽器も演奏できるシンガー・ソングライター</p> <p>石橋英子 「carapece」から 「face」 AIF(44.1kHz/16ビット)</p> <p>楽器の音がクリアに響き 臨場感に溢れた音</p> <p>「face」は低音もよく出ていて、ホルンの音が特に印象的でした。マスターテープを聴いている印象にひじょうに近かったです。ややサウンドが硬いように感じました。「Vinicius～」は、パーカッションの音がクリアで、歌の奥行きもよく表現されています。「Band～」は臨場感があるサウンドで、演奏者の位置も鮮明です。こんなに高音質で聴ける機器が、こんなに安いとは思いませんでした。ひじょうに音がよくて驚きました</p>	<p>シンセが多用されているような 曲を聴いてみたい</p> <p>とても聴きやすいサウンドだと思いましたが、やや音の質感の表現が不足しているのが気になりました。それから、サウンドがハイファイ感が強く、アコースティックな音や、「Vinicius～」のような絶妙なニュアンスの表現が必要になってくる曲では、クリアに聴こえ過ぎるかなと思います。でも逆にシンセが多用されている音楽、例えばタンジェリン・ドリームとかには合いそうなので、ぜひ聴いてみたいですね</p>	